

全ての日大生諸君！日大九月決戦の火蓋は切れて落とされた。夏休みに南けと共に、全国各地で大学治安立法粉砕斗争が果敢に南われている。しかし、日大生諸君。昨年9月、巨万の大衆を以て、あの激戦の10日間を闘い抜いた。我が日大全共斗がその最先頭に立つことも無くして全ての勝利は有り得ない。この事を確認しなければならぬ。

あの大学治安立法施行の8月17日、皮肉にも、権力の攻撃に対する我々の報復は、オニの安田を大徹底打撃であつた。英雄的な闘いは、日帝のもくろみをももの見事に粉砕した。バリエード女防戦に、あらゆる反革命を打ち破り勝利して、その大学治安立法は、全く有名無実化し、佐藤自民党政府

は、決定的窮地に追込まれるだろう。本9月5日、校刃隊による戒嚴奉手を突破し、圧倒的規模で勝ち取られた。全国全共斗結成、これ自体、日帝を震撼せしめることであるが、その力は、当面のバリエード打撃戦に勝ち抜くことを通して、十一月決戦に向ける真の力と成り得るだろう。バリエード打撃戦に成功するならば、十一月決戦は、全国のバリエードから巨万の軍団となす。陣するに、間違はない。我が日大全共斗は、9・30一周忌記念を以て、何としてでも法経両学部を奪還し、全学スライキに突入。不屈の日大全共斗は、全国全共斗の導きの星として、雄々しく登場してほらな。

しかし、この間の我々の闘いに、驚愕した日帝は、11月を前に、実質的に破防法弾圧に

入り始めている。徹底的に校刃隊の能主義・予防検束・殺人放火罪等々の軍罪適用。公安条例の10日以上の勾留がつき、先日の早稲田カマエ派のみなさん、この際、たまたまに居た、というだけで、みなも先達を逮捕。内3分の2以上の人、10日間勾留がついた。(通令がなされた場合、角材、ビニール等があつたとしても、逮捕令状が出たものについては、逮捕しなかつた。逮捕者に対する家宅捜索は、逮捕者のお父や住所の割り当て者については、10日以内に行なわれて、公安条例だから地裁へだとか、裁判所で名前を云つたから勾留がつかないだろうというは、全く過去の名残と化してしまつた。校舎捜索の際、たまたまそこに立着

用の角材が置いてあつたとしても、飲んだコップの空びんが転がっていただけでも、貴方は、先達準備集合罪という名目で逮捕されて行く。権力の徹底的攻撃の前には、徹底的に組織防衛。校舎保持。徹底的に闘う。文藝部等の貫徹(仮名住所、事実関係はもちろん、一切の雑誌を焚かす)刑事検事は、もう道何年という、今エラで、とりとめな、雑談としての風を装、ながら我々の起行成をたみだして。我々の選任、けかの治安要求、生理的的要求以外、口を南がは、全学活動家は、自宅等の身辺を常に整理して置く。(名義日記、どうも一切置かば、逮捕者があつた場合、夏休女大が対策を各学部で責任以て行